

農副連携で成果～栽培作物拡大につなげる～

岩沼市小川地区の(株)布田ファームでは、農福連携の一環として地域の福祉事業所と協力し、令和5年3月から一部作業を委託している。農作業を通して、作業者の新たな能力の発見や技能の向上につながっており、地域の先進的な取り組みとして注目されている。

布田ファームの^{ふださちこ}布田幸子さんは、福祉事業所での勤務経験から農福連携へ関心があった。県が主催した農福連携セミナーに参加した際に知り合ったアドバイザーを介して、福祉事業所とマッチングした。

現在は播種や袋詰めなどの作業を委託している。布田さんは「作業者は、体調不良などで来られないこともあるが、我々では手が回らない作業を行ってもらい、助かっている」と話す。同社では、人手の増加に伴い、栽培品目の拡大も検討している。

政府は2030年度までに全ての人々が社会に参画できる取組の一環として、今年6月に農福連携等に取り組む福祉事業者等を12,000以上とすることを目指し「農福連携等推進ビジョン(2024改訂版)」を策定している。

【記事提供】岩沼市農業委員会

作業従事者の袋詰め作業の様子



布田ファームでの作業従事者(令和5年12月13日みやぎ農福連携現地視察研修会)

